

医療倫理

Medical Ethics

薬：A1-01111MY

素養科目 1年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 久保田 唯史(医科学の公正・ガバナンス研究室)

■教育目的

医療を担う上で期待される倫理観を知り、法と倫理を大切にできる専門職意識(プロフェッショナリズム)を培う。現代における医療倫理の中心には、患者と医療者間の良好な意思疎通と情報提供がある。医療倫理とは、患者と医療者の双方を励まし、高める価値観であることを理解する。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、YD-④、YD-⑥】

■学習到達目標

1. ヒューマニズム(人間の尊厳)及びその根拠・理由を理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)
2. 医療倫理規範及び倫理学理論を理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)
3. 薬剤師及び技能者・研究者のプロフェッショナリズム(専門職能者精神)を理解し、適正に判断、行動できる(知識、態度)

■準備学習(予習・復習)

予習：日頃から医療とその倫理に関連すると思われるニュースに注目し、教科書内の該当するテーマの章に目を通しておく。(20分以上)

復習：授業の要点をチェックするとともに、気になった箇所を自分で調べてみる。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	なぜ倫理が必要か	自己紹介、ループリック紹介、参考書紹介、最近の医療倫理関連ニュース例	B-1-1-1、B-1-3-3
2	医療分野に関わる倫理原則	ヒポクラテスの誓いの意義と限界 患者の権利の保護	B-1-1-1,7,9 B-1-2-1,2,5,6,9,11
3	生命倫理とは	非倫理的研究への反省 生命倫理に関する諸原則、宣言	B-1-1-1,3,4 B-1-2-4,7,8,11
4	生命倫理と個別課題① 終末期医療・生殖医療	終末期の医療介入、生命の誕生に伴う倫理	B-1-1-5 B-1-2-10
5	生命倫理と個別課題② 脳死・臓器移植	脳死・臓器移植の倫理的ジレンマ	D-2-18-1
6	生命倫理と個別課題③ 先進医療	情報科学の活用、先進医科学の医療実装と倫理	B-1-2-6、B-5-2-1 D-2-18-1,2
7	倫理のホットイシュー ジェンダー・人種・文化	医科学におけるジェンダー・人種・文化の問題	B-1-1-9、B-1-2-11
8	医療倫理と薬剤師	FIP,APhA,GPhCによる薬剤師倫理綱領 薬剤師行動規範(日薬2018年)、薬局トリアージ	B-1-1-1,2,6、B-1-2-3 B-1-3-1,2,3,4
9	研究における倫理	研究不正とその防止、動物実験に関する倫理	D-1-1-6 G-1-2-1,3,4,5,6
10	臨床研究における倫理	臨床研究に関わる者の多様な視座 医薬品開発における規制	G-1-2-1,3,4,5,6
11	薬害・医療事故	薬害がなぜ起きるか 医療人の責任	B-1-3-5,6
12	医療分野の倫理に関する 法令・ルール	薬剤師や医療関係の倫理に関する法令・ルール	B-1-1-3,9、B-1-2-5 B-1-3-4,5、G-1-2-6
13	ケーススタディ	事例を用いて、倫理的観点から検討し、判断してみる	B-1-1-9,10
14	ケーススタディの振り返り	他者の判断の視点を意見交換し、理解を深める	B-1-1-9,10
15	補遺		

■授業分担者

久保田 唯史 (No.1～15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：質問があれば個別に受けつけ、解説・説明をする。重要なものは質問者の名前を伏せ授業で取扱う

可能性がある。

成績評価方法：期末試験(100 %)で評価する予定であるが、レポートを課す場合もある。

■ 参考書

松島哲久・宮島光志 編『薬学生のための医療倫理 新版』丸善出版(2021 年)

その他、授業中に紹介します。